

ヒノキ花粉の飛散も、

もうすぐおしまい！

のどの症状がおさまるのはいつ？

ヒノキ花粉症にみられる「のど特有な症状」—ムズムズしたかゆみ、ヒリヒリした痛み、声がかれる、咳などがあります。

この症状はヒノキ花粉の飛散が終わった後、いつ治まるのでしょうか？



1. しばらくは続く

2. 割とすぐに治まる



正解 2

スギ・ヒノキ花粉症の患者さんを対象にした調査では、花粉の飛散が終了しても、鼻水やくしゃみなどの鼻症状がその後も軽度には続いていましたが、のどの症状は花粉の飛散終了とともに、速やかに消失していたと報告されています。



参考文献 萩原仁美 他:ヒノキ科花粉症と咽喉頭症状
日耳鼻114:78-83, 2011

花粉症の初期療法として、スギ・ヒノキ花粉が飛んでいる時期にずっと服用していた薬はヒノキ花粉症の、のどの症状には効かなかった、という結果も、この調査から分かりました。



なので...

のどの症状には、

のどに効く薬を服用しましょう

のどのかゆみ、違和感、痛みなどに効く漢方薬として、**桔梗湯(ききょうとう)**があります。

漢方薬は、入っている生薬が少ないほど即効性があるとされていますが、桔梗湯は「桔梗」と「甘草」の2種類だけなので、早く効果が現れます。

「桔梗」は直接のどの粘膜に当てることで、炎症を抑えたり、膿を出したりする効果を発揮します。なので、少量の水やお湯に溶かして、うがいをするように服用するのが効果的です。

また、「甘草」が甘いので飲みやすく、2歳以上のお子さんから服用できます。



前回、取り上げた

トラネキサム酸、SPトローチ、アズノール
なども、早い効果が期待できます。